第2章　平成25年度山口大学構内遺跡の調査

第1節　平成25年度に実施した遺跡調査の概要

山口大学の関連諸施設は、山口市（吉田・白石構内）、宇部市（小串・常盤構内）、光市（光構内）の県内各市に分散しているが、各構内は「周知の埋蔵文化財包蔵地」内、つまり遺跡の上に立地している。各構内の様相を概観すると、吉田構内は縄文時代後・晩期から江戸時代にかけての全時代を網羅する複合集落遺跡として県内でも著名である吉田遺跡内に、白石構内は弥生時代から古墳時代を中心とした集落遺跡である白石遺跡内に、小串・常盤構内は旧石器時代から江戸時代にかけての遺物が出土する山口大学医学部構内遺跡内・山口大学工学部構内遺跡内に、光構内は縄文時代から江戸時代にかけての集落遺跡・遺物散布地である御手洗遺跡と月待山遺跡内にまたがって位置している。

このような環境の下、山口大学埋蔵文化財資料館は山口大学構内に埋存する貴重な埋蔵文化財を保護・調査・研究・活用する施設として、昭和54年(1979)に職員が配置されて以来、その重責を担い続けている。当館の平成25年度時の調査体制は以下の通りである。

まず、各構内において地下掘削を伴う工事が立案・計画された場合には、埋蔵文化財資料館専門委員会において事業計画の確認を行った後、文化財保護法の諸手続の下、山口大学各構内が位置する地方公共団体（山口県および各市）の指導により、埋蔵文化財保護の立場から本発掘・予備発掘・立会の3種の方法で調査を厳密に行っている。「周知の埋蔵文化財包蔵地」外に位置する大学関連施設（職員宿舎等）敷地内で地下掘削を伴う工事が実施される場合においても、埋蔵文化財の新規発見の可能性を考慮して、出来うる限り工事掘削時に資料館員が確認調査を行っている。これらの調査に対する当館の平成25年度の職員配置は、年度当初専任教員2名で11月より3名に増員、教務補佐員1名で12月2日より欠員、事務補佐員1名である。

上記の調査の結果で埋蔵文化財が確認された場合には、埋蔵文化財資料館専門委員会において、

表3　平成25年度山口大学構内遺跡調査一覧表

調査区分	調査名	構内地区	構内地区割	面積（㎡）	調査期間	本書掲載頁
本発掘	獣医学国際教育研究センター棟新営工事	吉田	P-17	608	8月5日～10月7日	13-26
	第1武道場耐震改修その他工事	吉田	F・G-16 G-17	692	10月10日～12月27日	27-66
予備発掘	教育学部附属山口中学校武道場新営工事	白石		235.8	6月3日～6月18日	77-86
立会	第1武道場耐震改修その他工事	吉田	H-15	1	1月30日	67
	農場本館研究・実験室改修工事	吉田	S-13	4	2月5日	68
	農学部本館他電気接地改修工事	吉田	R・S-13	1	3月11日	69
	椹野寮新営工事	吉田	O-20　N・O-21 O・P-22	35	8月21日、9月2・21日 11月14日、12月24日 2月19～28日	70-71
	陸上競技場外灯設置工事	吉田	E-19・20 F-19 G・H-18	56	11月26日	72
	自転車置き場設置工事	吉田	G・H-15	90	2月7日	73
	基幹・環境整備（太陽光発電設備）工事	吉田	L・M-18　L-18	20	2月19日	74
	交通標識設置工事	吉田	J-15　L-11～13 O-18	6	3月24日	75
	学術情報資産の集約管理システム設備工事	吉田	K-14	22.8	12月24日	76
	教育学部附属山口中学校武道場新営に伴う外構及び渡り廊下取設工事	白石		77.6	2月17～20日 3月6・10・11日	87-105
	教育学部附属光小学校仮設校舎設置工事	光		57	7月12・13・15～17日	106-110
	教育学部附属光小学校校舎改修その他工事 教育学部附属光小学校校舎機械設備改修その他工事 教育学部附属光小学校校舎電気設備改修その他工事	光		412	11月27日 4月7日 2月12・20・21・24日 12月2・12・13・16日	111-114

遺跡のさらなる現状変更を避けるべく、工事計画、工事設計の変更等で現状保存が可能であるかどうかについて厳密な協議を行い、保存方法を選定している。また、調査成果については地方公共団体への報告後、内業整理等を経て可能な限り迅速に発掘調査概報（年報）を刊行している。

上記の調査体制の下、平成25年度に当館が実施した大学構内における埋蔵文化財の調査は、表3の通り、本発掘調査2件、予備発掘調査1件、立会調査14件の計17件であった。

吉田構内（本部、人文・教育・経済・理・農の各学部：山口市吉田1677-1、教育学部附属養護学校：同吉田3003所在）

例年通り、平成25年度の埋蔵文化財調査も吉田構内に集中し、その件数は本発掘調査2件、立会調査9件を数える。

獣医学国際教育研究センター棟新営工事に伴う発掘調査では、連合獣医学研究棟東側の駐車場敷地にて本発掘調査を実施した。その結果、当該地は大規模に削平を受けているものの、連合獣医学研

写真24 吉田構内航空写真（南東から）

写真25 白石構内（教育学部附属山口幼稚園・小学校）
航空写真（東から）

写真26 白石構内（教育学部附属山口中学校）
航空写真（南から）

図１ 山口大学吉田・白石構内位置図

究棟敷地にて確認されていた縄文時代自然河川の右岸部が遺存していることが判明した。当調査によって、河川の規模が復元されることとなり、不明瞭である吉田遺跡の縄文時代の様相の一端が明らかとなった。

構内西部の沖積低地に当たる陸上競技場敷地において、第1武道場耐震改修その他工事に伴い、新たに体育器具庫が建設することとなり、本発掘調査を実施した。調査地は、弥生時代の大溝2条が確認された第2体育館敷地の南西に隣接するため、その延長部の検出が予想されたが、調査の結果大溝1が井堰状遺構を有する自然河川であること、自然河川からの導水のため溝が接続されていること、溝2の延長部に性格不明土壙状遺構が複数存在することなどが確認された。また、いずれも埋没時期が古墳時代前期であることが判明し、調査区の南東150mに営まれた弥生時代から古墳時代にかけての集落の廃絶時期と一致することが明らかとなった。遺物としては、日常生活用水の取水施設である可能性が指摘される遺構から、柵状施設とともに複数の竹製網代編み製品が出土したことが特記される。以上の調査成果により、遺構の保存が検討されたが、計画建物は災害時の緊急避難場所等の機能も兼ねたものであったため、設計変更および計画地変更が困難であったことから、やむなく記録保存を行うこととなった。

立会調査では、埋蔵文化財に支障が生じた工事は少なかったものの、椹野寮新営工事に伴う設備関連工事の立会調査にて、既設の椹野寮1号棟の西側にて竪穴住居跡の可能性がある落ち込みを確認した。従来、椹野寮敷地は北東の牧草地が位置する丘陵のカット面で、遺構は遺存しないと推定されていたが、その西端部においては遺構が埋存する可能性が高まった。

白石構内（教育学部附属山口幼稚園：山口市白石三丁目1-2、同山口小学校：白石三丁目1-1、同山口中学校：白石一丁目9-1所在）

予備発掘調査1件、立会調査1件を実施した。教育学部附属山口中学校武道場新営に伴う予備発掘調査では、遺物包含層と水流堆積層を確認したが、その他に顕著な埋蔵文化財が確認されなかったため、本発掘調査は実施しなかった。

教育学部附属山口中学校武道場新営に伴う外構工事（防球ネット、フットサルコート、汚水管・集水枡）および渡り廊下取設工事に伴う立会調査では、中学校校舎南西地点において、遺物包含層ないし河川埋土を確認し、弥生時代終末期から古墳時代初頭の土器や、縄文時代晩期と考えられる深鉢胴部片1点が出土した。これらの遺物は調査区の北西に位置するプール敷地周辺からの流れ込みと推測されることから、周域での今後の開発計画等に注意を促す結果となった。

小串構内（医学部、同付属病院：宇部市南小串1丁目1-1）

土地の掘削を伴う工事計画は立案されなかった。

常盤構内（工学部：宇部市常盤台2丁目16-1、尾山宿舎：同上野中町2658-3所在）

土地の掘削を伴う工事計画は立案されなかった。

光構内（教育学部附属光小学校、同光中学校：光市室積8丁目4番1号）

立会調査4件を実施した。教育学部附属光小学校仮設校舎接地工事に伴う立会調査では、2層の遺構面を確認し、古墳時代と見られる土壙6基を検出した。出土遺物は少量であったが、土師器甕または甑の把手が出土している。教育学部附属光小学校校舎改修その他工事に関連する3件の立会調査では、顕著な埋蔵文化財は確認されなかった。

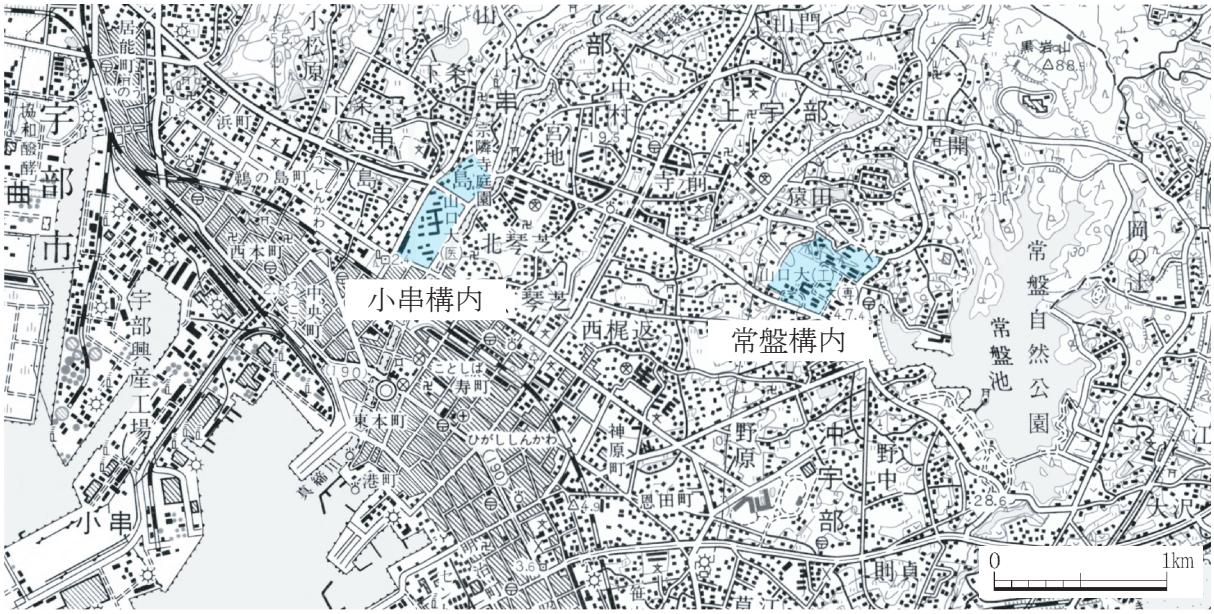

図2 小串・常盤構内位置図

写真27 小串構内航空写真（南東から）

写真28 常盤構内航空写真（南から）

写真29 光構内航空写真（北東から）

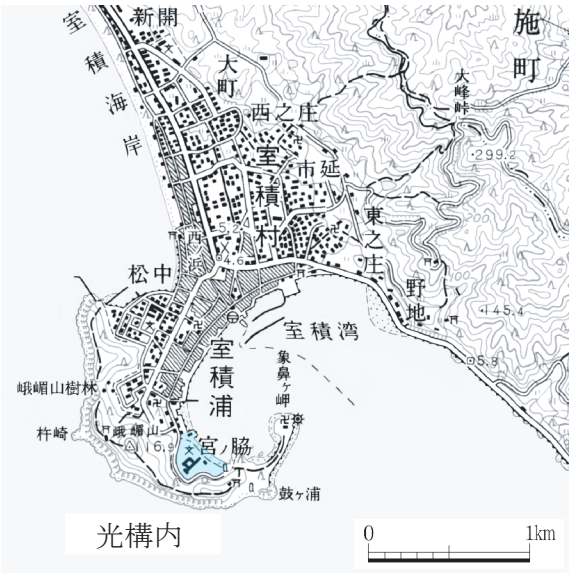

図3 光構内位置図